

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2002-331862
 (43)Date of publication of application : 19.11.2002

(51)Int.CI.

B60N 3/10
 A47C 7/62
 B60R 7/04
 B60R 7/06

(21)Application number : 2001-140895

(71)Applicant : KANTO AUTO WORKS LTD
 KANTO SHEET SEISAKUSHO:KK

(22)Date of filing : 11.05.2001

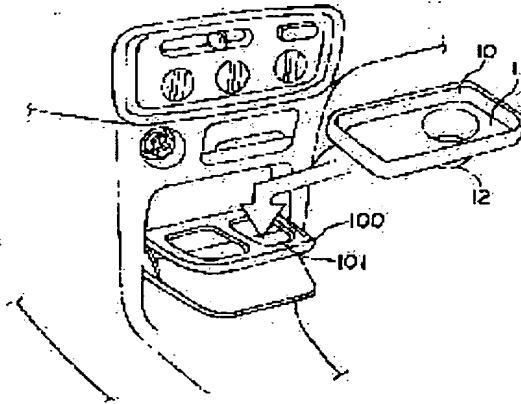
(72)Inventor : KONATSU HIROSHI
 ABE JUNYA

(54) ATTACHABLE/DETACHABLE TRAY

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide an attachable/detachable tray with high multi-functionality and excellent usability and handling property.

SOLUTION: The attachable/detachable tray 10 can be set to a cup holder 100 as an onboard holder unit. A fitting part 12 engaged with a holder part 101 is protruded downwardly, and set to the cup holder 100 via the fitting part 12. The tray is attachably/detachably fitted to a fitting part 4 provided on an appropriate part of a seat as an in-vehicle equipment, and set to the cup holder 100 when detached from the fitting part 4. When not in use, the tray is fitted to the fitting part on the seat side, and stored. The tray can be detached from the fitting part 4 and set to the cup holder 100.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's
decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2002-331862

(P2002-331862A)

(43)公開日 平成14年11月19日 (2002.11.19)

(51)Int.Cl.⁷
B 6 0 N 3/10
A 4 7 C 7/62
B 6 0 R 7/04
7/06

識別記号

F I
B 6 0 N 3/10
A 4 7 C 7/62
B 6 0 R 7/04
7/06

テマコード(参考)
A 3 B 0 8 4
A 3 B 0 8 8
C 3 D 0 2 2
Z

審査請求 未請求 請求項の数 5 O L (全 4 頁)

(21)出願番号 特願2001-140895(P2001-140895)

(22)出願日 平成13年5月11日 (2001.5.11)

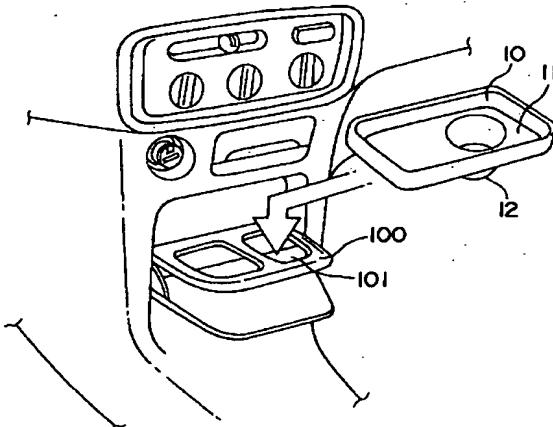
(71)出願人 000157083
関東自動車工業株式会社
神奈川県横須賀市田浦港町無番地
(71)出願人 000141071
株式会社関東シート製作所
神奈川県横浜市金沢区谷津町23
(72)発明者 小夏 弘士
神奈川県横須賀市田浦港町無番地 関東自動車工業株式会社内
(74)代理人 100082876
弁理士 平山 一幸 (外1名)

最終頁に続く

(54)【発明の名称】 着脱式トレイ

(57)【要約】

【課題】 多機能性に富み、使用性や取扱性等に優れた着脱可能なトレイを提供する。
【解決手段】 着脱式トレイ10は、車載ホルダユニットとしてのカップホルダ100にセット可能である。ホルダ部101に係合可能な嵌合部12が下方へ突設され、嵌合部12を介してカップホルダ100にセットされる。車内装備品としての座席シートの適所に設けた装着部4に着脱可能に装着され、装着部4から取り外した際、カップホルダ100にセットされる。使用しない場合はシートサイドの装着部に装着され、格納される。装着部4から取り外してカップホルダ100にセットすることができる。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 車載ホルダユニットにセット可能なトレイであって、前記車載ホルダユニットに設けたホルダ部に係合可能な嵌合部が突設され、この嵌合部を介して前記車載ホルダユニットにセットされるようにしたことを特徴とする着脱式トレイ。

【請求項2】 車内装備品の適所に設けた装着部に着脱可能に装着され、前記装着部から取り外した際、前記車載ホルダユニットにセットされることを特徴とする、請求項1に記載の着脱式トレイ。

【請求項3】 前記車載ホルダユニットとしてカップホルダを含み、該カップホルダに前記嵌合部が係合してセットされることを特徴とする、請求項1または2に記載の着脱式トレイ。

【請求項4】 前記車内装備品として座席シートを含み、そのシートサイド部に設けられた前記装着部に着脱可能に装着されされることを特徴とする、請求項2または3に記載の着脱式トレイ。

【請求項5】 請求項1～4のいずれかに記載のトレイを装着可能に構成された座席シートであって、そのシートサイド部に、前記トレイを着脱可能に装着する装着部を有することを特徴とする座席シート。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、乗用車等の車両において、特にシートに着脱可能に装着されるトレイに関するものである。

【0002】

【従来の技術】この種の車両では種々のトレイが装備あるいは取り付けられ、適宜物入れ等として利用されている。また、車載のカップホルダをはじめとする各種の車載ホルダユニットも装備され、これらによって利便性が高められている。たとえば、図5は従来使用されているトレイの例を示している。このトレイはインストルメントパネルの上面等に配置され、小物入れ等として使用される。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】上述した例のトレイ等は両面テープ等で所定位置に固定されており、一旦設置した後は基本的にその位置でそのまま使用される。ところが、実使用に際して設置位置を変えたい場合や、あるいは実質的に不使用になる場合があり、これらの場合に有効に対応することができない。また、トレイ等として单一機能を有するだけであるため、他の機能が欲しい場合にはこれをそっくり交換しなければならない。

【0004】本発明は以上の点に鑑み、多機能性に富み、使用性や取扱性等に優れた着脱式トレイを提供することを目的とする。

【0005】

【課題を解決するための手段】上記目的を達成するため、本発明は、車載ホルダユニットにセット可能なトレイであって、車載ホルダユニットに設けたホルダ部に係合可能な嵌合部が突設され、この嵌合部を介して前記車載ホルダユニットにセットされるようにしたことを特徴としている。

【0006】また、本発明の着脱式トレイは、車内装備品の適所に設けた装着部に着脱可能に装着され、この装着部から取り外した際、車載ホルダユニットにセットされることができる。

【0007】また、本発明の着脱式トレイは、好ましくは、前記車載ホルダユニットとしてカップホルダを含み、このカップホルダに前記嵌合部が係合してセットされる。

【0008】また、本発明の着脱式トレイは、好ましくは、車内装備品として座席シートを含み、そのシートサイド部に設けられた装着部に着脱可能に装着される。

【0009】また、本発明の座席シートは、上記いずれかのトレイを装着可能に構成された座席シートであって、そのシートサイド部に、前記トレイを着脱可能に装着する装着部を有することを特徴とする。

【0010】本発明によれば、トレイ等として使用しない場合はシートサイドの装着部に装着され、邪魔にならないよう格納しておくことができる。また、使用に当たっては、その装着部から取り外して典型的にはカップホルダにセットすることができる。その場合、使用状況に応じて、トレイあるいはカップホルダ等として使用することができ、極めて機能性に優れている。

【0011】

【発明の実施の形態】以下、図面に基づき、本発明の好適な実施の形態を説明する。図1は本発明のトレイ10を示している。トレイ10は、概して扁平型の有構造を有し、この例では矩形の皿状の形態となっている。本発明にかかるトレイ10は、後述するように既存の車載ホルダユニット、典型的にはカップホルダにセット可能である。

【0012】トレイ10の底部11の一部には、後述するカップホルダに設けたホルダ部に係合可能な嵌合部12が下方に突設され、この嵌合部12を介してセットされるようになっている。嵌合部12はカップ等を収容し得るように、たとえば筒状に形成される。トレイ10は合成樹脂材を用いて、一体成形することができる。

【0013】また、トレイ10は、車内装備品の適所に設けた装着部に着脱可能に装着され、装着部から取り外した際、カップホルダにセットされる。この実施形態では、車内装備品として、図2に示される座席シート(フロントシート)1を含んでおり、そのシートサイド部に設けられた装着部に着脱可能に装着されるようになっている。

【0014】図2において、シート1はシートクッション

3
ン2とシートパック3とからなっていて、シートクッション2下部のシートサイド部には、トレイ10を装着するための装着部4を備えている。シートサイド部にはガーニッシュ5が配設されており、トレイ10は、図2に示されるように垂直に立ててガーニッシュ5にぴったりとしたかたちで収納される。その場合、嵌合部12がガーニッシュ5側に形成された凹部(図示せず)に係合する。また、トレイ10を取り外す場合は、スライドまたはその他の方法で簡単に装着部4から取り外すことができるようし得る。

【0015】上記構成において、トレイ10を使用しない場合は、シートサイド部のガーニッシュ5に設けた装着部4にコンパクトに装着され、邪魔にならないように格納される(図2)。使用に際して、上記のように装着部4から簡単に取り外すことができる。

【0016】装着部4から取り外されたトレイ10は、単体では図1に示されているように底部11から嵌合部12が突設している。したがって、この嵌合部12を利用して、たとえば、図3に示すようにカップホルダ100のホルダ部(開口部)101にこの嵌合部12を係合させることにより、トレイ10をセットすることができる。このとき、嵌合部12がホルダ部101の開口部に嵌入しているから、セットされたトレイ10は所定位置に安定して配置される。

【0017】実使用において、トレイ10は本来のトレイとして小物等を載せておくことができる。また、カップホルダ等として使用することができ、その場合、この嵌合部12に形成されている凹部を利用して、その中に缶ジュースやカップ等を収容することができる。このように使用状況に応じて、トレイあるいはカップホルダとして適宜使い分けて使えるため、極めて機能性に優れている。

【0018】さらに、図4に示すようにセンタコンソールボックス200に装着あるいは載置することができる。この場合にもセットされたトレイ10は所定位置に安定して配置され、トレイあるいはカップホルダとして使用することができる。

【0019】上記のように本発明を実施の形態に基づき説明したが、本発明はこの実施の形態にのみ限定されるものではなく、本発明の範囲内で適宜変更可能である。た*40

*とえば、トレイ10の具体的な形状等は図示例のものだけに限定されず、円形もしくは多角形等、種々の形状、構造が採用可能であり、上記実施の形態と同様な作用効果を得ることができる。また、車内装備品として座席シート(フロントシート)1の他、比較的目立たずに邪魔にならないような部位もしくは部材であれば、いずれにおいてもトレイ10を装着することができる。

【0020】

【発明の効果】以上説明したように本発明によれば、この種のトレイにおいて不使用時には装着部に装着され、邪魔にならないように格納し、使用時にはカップホルダ等にセットすることができる。実使用においてはトレイあるいはカップホルダ等として使用することができ、極めて機能性に優れている。典型的には車載のカップホルダを利用して着脱式とすることができるため、汎用性に優れ、また、必要な場合のみ使用することができるのに利便に優れたものとなっている。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明による実施形態におけるトレイを示す斜視図である。

【図2】本発明による実施形態におけるトレイの装着例を示す斜視図である。

【図3】本発明による実施形態における使用例を示す斜視図である。

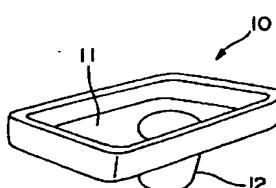
【図4】本発明による実施形態における別の使用例を示す斜視図である。

【図5】従来のトレイを示す斜視図である。

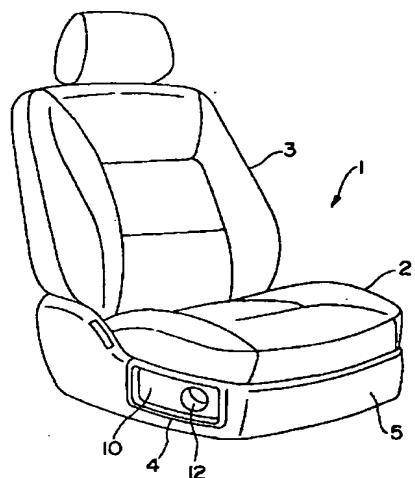
【符号の説明】

1	シート
2	シートクッション
3	シートパック
4	装着部
5	ガーニッシュ
10	トレイ
11	底部
12	嵌合部
100	カップホルダ
101	ホルダ部(開口部)
200	センタコンソールボックス

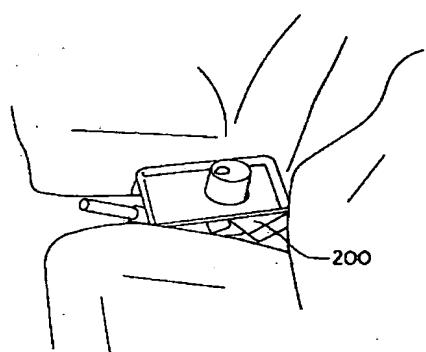
【図1】



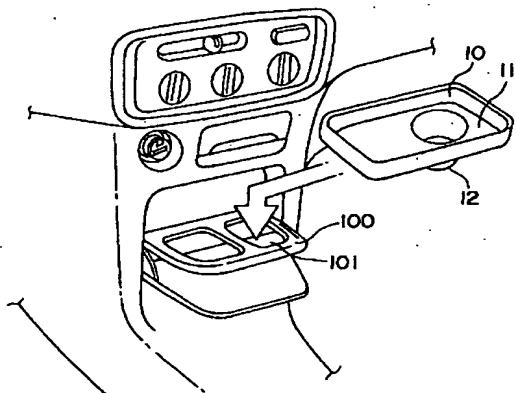
【図2】



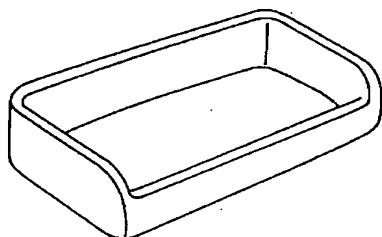
【図4】



【図3】



【図5】



フロントページの続き

(72)発明者 阿部 順也

神奈川県横浜市金沢区谷津町23番地 株式
会社関東シート製作所内

F ターム(参考) 3B084 JA05 JB02

3B088 LA01 LB01

3D022 CA22 CB01 CC02 CC19 CD09